

## 例 言

1. 本報告書は、2017年4月～2018年3月、公益財団法人福武財団から受けた研究助成金による「小豆島における巨石海運技術の研究」（研究代表者：高田祐一）の調査成果報告書である。研究助成金を交付いただいた公益財団法人福武財団には、記して感謝申し上げる次第である。
2. 本研究で調査対象としたのは、香川県小豆郡小豆島町に所在する大坂城石垣石丁場跡小豆島石丁場跡八人石丁場の海岸である。
3. 本報告書に収録した写真は、主に高田祐一・福家恭が撮影した。図版は、主に福家恭・鈴木知怜・広瀬侑紀が作成した。
4. 本報告書の編集は、高田祐一がおこなった。
5. 国史跡名であった、大坂城石垣石切丁場跡は文化審議会（平成29年11月17日）において、兵庫県六甲山に所在する石切場を追加指定し、大坂城石垣石丁場跡（小豆島石丁場跡、東六甲石丁場跡）に名称変更となった。大坂城石垣石丁場跡小豆島石丁場跡は、小豆島町岩谷に所在する石切場を指す。しかし小豆島石丁場跡では、小豆島内の他の石切場と混同することや、当初の1970年の県指定史跡名「大阪城用残石群」など、呼称が複数パターンあるため、本報告書では小豆島町岩谷に所在する石切場を岩谷石切場と呼称する。
6. 本報告書では、ほぼ同意である石丁場・石切丁場・石切場・石切り場・石場・採石場などの用語の統一を図っていない。
7. 調査参加者以外に以下の方々にご助言・ご協力を賜った。厚く御礼申し上げます。  
（順不同）一瀬和夫（京都橘大学）、藤川祐作（神戸深江生活文化史料館）、中西裕見子（大阪府教育庁）、中居和志（京都府教育庁）、川宿田光憲、川宿田好見（小豆島町）、丸山豊一